

ちば千産技術（4社5技術）

技術名	概要	発表者
<p>【H29C-1-1】 プレキャスト製パネルによる鋼(管)矢板の 修景および被覆 「オールガードパネル」</p>	<p>主に河川・海岸で実施している鋼管杭や鋼矢板の現場打被覆工では木製、鋼製の型枠を使用し、設置及び取外しが必要であったが、本製品は型枠として使用するとともに本体の一部として躯体に残置でき、工期の短縮及び施工性の向上を図る製品。</p>	<p>共和コンクリート工業(株) (木更津市) 池田 誠司</p>
<p>【H29C-1-2】 プレキャストコンクリート製残置型枠 「残置型枠ブロック」</p>	<p>主に港湾・漁港の既設岸壁の改良・補修工事等において、鋼製型枠を海中に設置していたが、水中作業のため設置、取外しに課題があった。本製品は鋼製型枠の代替として使用し、躯体の一部としても残置でき、工期の短縮及び施工性の向上を図る製品。</p>	<p>共和コンクリート工業(株) (木更津市) 池田 誠司</p>
<p>【H29C-1-3】 軟弱地盤改良用石灰系粒度調整材 「ジオタイザー®」</p>	<p>軟弱地盤改良材「ジオタイザー®」は鉄鋼スラグを原料とした石灰系粒度調整材であり、粒状材料である。施工性が良く粉塵がたたない、バラ材で運搬・保管が出来るので取り扱いが容易で、材料費が安価で建設コスト縮減により経済性向上が図れる材料。</p>	<p>新日鐵住金(株) (君津市) 山越 陽介</p>
<p>【H29C-1-4】 さび面補修剤 「スーパーさびコートⅡ」</p>	<p>スーパーさびコートⅡは、塗料中のさび抑制剤が鋼材(鉄)のアノード溶解を抑制する効果を有している。本塗料は、塗替え塗装に必要な旧塗膜適性を有し、強溶剤形と弱溶剤形の2種類があり、塗替え期間の延長、コスト縮減や工期短縮が期待される材料。</p>	<p>神東塗料(株) (八千代市) 椿原 貴之</p>
<p>【H29C-1-5】 コンクリートの内面に溝を切削する内面溝切装置 「スプリングビット工法」</p>	<p>あと施工アンカーのコア穿孔が既設構造物の鉄筋と干渉した場合に、穿孔内壁に凸凹を施すことで高密着させ、短い定着長(例 15D→8D程度)でも引抜き強度を確保する工法。</p>	<p>田中ダケ工業(株) (船橋市) 田中 大介</p>

## 新技術（8社9技術）

技術名	概要	発表者
<p>【H29S-1-1】 コンクリート構造物からの確実な漏水止水工法 「STTG工法」</p>	<p>本技術は、石油樹脂・アクリル樹脂系材料と親水性ウレタンプレポリマーを用いた新しいコンクリート構造物の止水工法で、材料の硬化時間が短縮され、多量漏水部の止水が可能となった。材料は、付着力、伸び特性があり、変位に追従し、耐久性に優れている。</p>	<p>(一社)STTG 工法協会 佐藤 亘</p>
<p>【H29S-1-2】 推進工法用分割式プレキャスト支圧壁 「バックロック工法」</p>	<p>本技術は、推進工法用支圧壁をプレキャスト化した技術で、支圧壁の再利用が可能となり廃棄物の発生が低減するため環境への影響低減が図れる。コンクリートのハツリが減少し、騒音、振動が減少し現場周辺の環境改善、作業工程が減少し、工程短縮が図れる技術。</p>	<p>秩父コンクリート工業(株) 村田 好彦</p>
<p>【H29S-1-3】 小黑板情報電子化対応施工管理アプリ 「SiteBox 出来形・品質・写真」</p>	<p>チョークで書いていた小黑板を、スマートフォン等を利用し工事写真に写し込むことが可能なアプリ。小黑板に入力した工種、測点、施工管理値等を用いて自動的に写真管理ソフトで工事写真を整理し、納品前の写真整理作業が不要、管理図表を自動作成する技術。</p>	<p>(株)建設システム 玉寄 竜也</p>
<p>【H29S-1-4】 工事進捗が見える ASP 型工事情報共有システム 「BeingCollaboration PM」</p>	<p>受発注者間の工事書類等のやり取りをインターネットで行う技術で、工程表の共有方法を ASP 型情報共有システムに変えたことにより、工程表の作成及び提出までに要する時間を短縮できるため、省力化、工程の短縮及び経済性の向上が期待できる技術。</p>	<p>(株)ビーイング 鈴木 隆介</p>
<p>【H29S-1-5】 地中レーダ搭載一体化車両 「路面下空洞調査システム」</p>	<p>路面下に発生している空洞を陥没前に発見することにより事故を未然に防止することを目的とした路面下空洞探査システム。車両に積載した地中レーダから発信させた電波が地中を透過し反射してきた情報を高速にて記録再生でき、施工性に優れる技術。</p>	<p>(株)三造試験センター 営業グループ</p>
<p>【H29S-1-6】 軟弱地盤に適用可能な拡径型アンカー 「スプリッツアンカー工法」</p>	<p>スプリッツアンカー工法は、2枚羽根形状の拡径ビットを使用した拡径型アンカーである。φ800mm(標準)の定着体の実現により、大きな周面摩擦抵抗力に加え、拡径面での支圧抵抗力の付加が可能となり、堅固な土質が存在しない地質条件等に対応する技術。</p>	<p>日特建設(株) 岩崎 玄之</p>
<p>【H29S-1-7】 既設落石防護網の補強工法 「ケイワンコイルネット工法」</p>	<p>本工法は急傾斜地などに設置されている既設の落石防護網をポイント補強する工法で、従来のように全面撤去・新設せずに既設の防護網を有効活用する工法で、補強箇所を限定することにより、工期の短縮・交通規制の低減により安全性の向上につながる工法。</p>	<p>(株)深沢工務所 望月 潤</p>
<p>【H29S-1-8】 岩接着工法 「ケイワンボンド工法」</p>	<p>本工法は、急傾斜や高所等にある不安定な岩塊を、地山にまとめて固定する岩接着固定工で、高強度モルタル及び接着ボンドモルタルを人力や吹付にて被覆接着固定するため、コスト削減・工期短縮が可能で施工性の向上につながる工法。</p>	<p>(株)深沢工務所 望月 潤</p>
<p>【H29S-1-9】 急傾斜地掘削工法 「セーフティークライマー工法」</p>	<p>本工法は、高所急傾斜地にて独自のワイヤー展開で機械を吊るし、遠隔(リモコン)操作で切り崩し・掘削・整形・除根、既設モルタルの取壊し作業などを行う工法で、人力ではなく無人化機械施工のため、安全施工で大幅な工期短縮・コスト削減が可能な工法。</p>	<p>セーフティークライマー協会 井上 裕介</p>